

蒲江の貝類



アズキガイ



カンダマイマイ



フカシマコベソマイマイ



スグヒダギセル



シイボルトコギセル



ヒラシタラガイ



サツمامシオイ



ウブギセル

豊かな自然に守られた陸の貝

自然が豊富なこの地域には、陸産貝類の生息種数が多くて、深島に25種、屋形島には42種がいます。

フカシマコベソマイマイは主に深島に、ウブギセルは屋形島にのみいる貝です。サツمامシオイは主分布地が九州南部です。ヒラシタラガイは沿海地にだけ生息する微小種です。

屋形島や丸市尾のカンダマイマイは蒲江が分布の中心地となっています。このあたりのお宮にはシイボルトコギセルやスグヒダギセル・アズキガイなどがよく見かけられます。



ウズラガイ



タツマキサザエ



イシバシウミウサギガイ



ベニオビショクコウラ



ルリガイ



クチムラサキサンゴヤドリガイ



サラサバテイガイ



カノコダカラガイ



キキョウニシ



リュウグウボタルガイ



ヤナギシボリイモガイ



カズラガイ



サソリガイ



ホラガイ



リンボウガイ



ウグイスガイ



タコブネ



ショウジョウガイ



キンギョガイ



ニシキガイ



オオイトカケガイ

黒潮に育まれた海の貝

蒲江の海は海産貝類の宝庫です。これまでの調査で、およそ3000種ほどが記録されています。

黒潮の影響が大きいこの海域の島や岬の岩礁地帯には、ニシキウズガイ科やタカラガイ科・イモガイ科など、黒潮系・南方系と言われる美しい貝がたくさんいます。またサンゴ礁にお花畑を作るウミトサカやイソバナの類には、可憐なウミウサギガイ類が寄生していますが、この仲間の多いことも特色です。

海の貝の色彩の美しさや、形の絶妙さは大自然が生んだ芸術品とも言われます。

(資料、写真は浜田保氏提供)



ニシキツノガイ



フジタキリガイ



ヒガイ



ホネガイ



ヤクシマダカラガイ



オオゾウガイ